

## 【就労事例部門】

### 入選 東海林 直

## フルリモート勤務による事務職の事例

国内クレジットカード会社 総務部にて勤務しております。

#### 特徴1 障害者雇用

障害者雇用求人にて採用いただき、合理的配慮事項について十分に理解いただいて勤務開始することができました。使用するPCへ音声読み上げソフト(NVDA)をインストール、部内メンバーへ私自身の見え方や苦手としていることを共有し、必要に応じて他部署の人員とも弱視であることを伝えながらコミュニケーションをとって従事しております。

また、苦手としている細かい体裁や誤字脱字のチェックなど、部内のメンバーと協力しながらチームで業務を遂行する体制を整備していただくことで、働きやすい環境の中で業務を行なっております。

#### 特徴2 フルリモート勤務

現在、居住地である札幌に拠点がなく、フルリモートにて勤務しております。ビデオ会議、チャットツール、電話でコミュニケーションを取り、紙媒体での業務がないことから私自身ストレスなく働くことができしております。

#### 意義

この事例の意義は場所にとらわれず就業することが可能な時代であること、視覚障害者の職業選択の2点であると考えます。上記2点により、今後さらに視覚障害者の職域拡大につながる事例の一つであると考えます。

#### 審査員コメント

フルリモートの実現例として非常に意義が大きい。



#### 東海林 直

20代前半に視力低下と視野欠損の症状を自覚し、網膜色素変性症の診断を受ける。自分の将来を案じてビジネススクールへ通い、MBA(経営学修士)を取得。卒業を機に、事務職へ転職。2022年5月に障害者手帳の交付を受ける。2023年4月に転職し、現在はフルリモート勤務にて国内クレジットカード会社に従事。